

學大科法學大國帝都京

經濟論叢

號一第

卷四第

行發日一月一年六正大

論說

官業問題ニ就キテ(一).....

法學博士

神戸正雄

體質廢頹問題(二).....

法學博士

財部靜治

戰時ノ我輸出品ノ粗製濫造(二完).....

法學博士

戸田海市

消費ニ關スル學說ノ發達(一).....

法學博士

瀧本誠一

經濟心理學ノ組織的研究(一).....

法學士

米田庄太郎

米券倉庫ヲ論ス(二完).....

法學士

河田嗣郎

雜錄

賤民名稱考.....

文學博士

新村出

女ニ子ヲ生マス政策.....

文學士

米田庄太郎

原始亂婚ニ就イテ.....

文學士

高田保馬

寶曆ノ豫算.....

法學士

本庄榮治郎

歐洲ニ於ケル工場監督機關ニ就テ(二完).....

法學博士

山本美越乃

經濟雜話(七).....

法學博士

田島錦治

戰後ニ對スル二大準備.....

法學士

河田嗣郎

新著紹介及ビ寄贈書目

米券倉庫ヲ論ズ (二、完)

河 田 嗣 郎

四 米券倉庫ノ業務

我國ノ米券倉庫ナルモノハ、其ノ性質スラ十分明確ナラズ、其ノ組織ノ如キハ區々トシテ何等ノ統制ナキ有様デアルカラ、其ノ行フ所ノ業務ノ種類及ビ經營ノ狀況等ニ至ツテモ、所ヲ異ニシ倉庫ヲ異ニスルニ從ツテ少カラザル逕庭アルヲ免レヌ。然シ今全國諸地方ノ米券倉庫ニ就キテ、其ノ行フ所ノ業務ヲ一々ニ取調べ、全體トシテ之ヲ見レバ、實ニ農務彙纂ノ載スル所ノ如ク、²⁹⁾左ノ八種業務ト爲スコトガ出來ル。

(一)米穀ノ保管 (二)保管米ニ對スル金融 (三)俵裝ノ改良 (四)米穀賣買ノ受託 (五)小作米徵收ノ受託 (六)米穀移送ノ受託 (七)保險業ノ代辦 (八)產米品評會ノ開催、肥料農具良種籾ノ購買紹介等ノ農事改良事業 …… 右ノ外尙ホ (九)公課納付ノ受託ヲ爲スモノモアル。

吾人ハ茲ニ少シク右諸般ノ業務ノ中重要ナルモノ二三ニ就イテ論ジテ見タイト思フノデアル。

(一)先ヅ米穀ノ保管ト云フコトニ就イテ致フルニ、之ハ米券倉庫ノ業務トシテハ實ニ其ノ眼目ヲ爲スモノデアツテ、米券倉庫タル所以ヲ爲ス主要第一ノ業務ト云ハナケレバナラス。然シ前ニモ

既ニ一言シタガ如ク、米券倉庫ノ發達及ビ現在ノ實狀ヨリシテ之ヲ見レバ、米券倉庫ナルモノハ米穀ノ保管ト云フコトヲ第一義ト爲ストハ云ヒ條、其ノ保管ト云フ意味ハ米ヲ技術的ニ完全ニ保存スルト云フコトヨリモ、寧ロ之ヲ資金化シ之ヲ利用シ之ガ商品能力ヲ多大ナラシムルト云フコトニ、更ニ重キ意義ノ附セラルルモノタルヲ認メナクテハナラヌ。從テ問題ハ次ニ述ブ可キ保管米ニ對スル金融ト云フコトト密接ナル關係ヲ有スルモノナルヲ忘レテハナラヌ。

ソハ兎モ角、米穀ノ保管ニ關シテ現今米券倉庫ノ業務トシテ最モ注意ス可キ事項ハ、(イ)保管米ノ混合保管ト云フコトト(ロ)保管米ニ對スル證券ノ發行ト云フコト之デアル。

(イ)米券倉庫ガ寄託米ノ保管ヲ爲スニ營ツテ之ヲ混合保管ト爲シ、同銘柄同品質ノモノハ或ハ俵裝ヲ解イテ全ク混合シテシマイ、或ハ俵裝ノ儘ニ之ヲ混同シテ保管スルハ、一般ニ行ハルル所デアリ、此事ハ臆テ又米券倉庫ノ性質ヲ決定ス可キ一事項ヲ爲スニ足ルモノナルコト先ニ一言シタ通リデアル。成程之ハ獨リ米券倉庫ニ特有ナ事柄ジハナク、一般ニ穀物倉庫ニ通有ナル性質デアルトハ云ヘ、米券倉庫ガ又一ノ穀物倉庫トシテ此ノ混合保管ヲ行フハ、實ニ其ノ業務ヲシテ意義ノ大ナルヲ得セシムル所以ト云ハナケレバナラヌ。此ノ混合保管ノ行ハルルガ爲メニ米穀ハ頗ル其ノ代替性ヲ増シ、商品トシテノ性能ヲ加ヘ、其ノ融通力ヲ大ニシ、從テ其ノ價格ヲ高カラシメラルルモノデアアル。尤モ此ノ混合保管ト云フコトハ、米券倉庫ガ原則トシテ之ヲ行フ所デアリ又之ヲ行フヲ以テ穀物倉庫ノ本質ニ適合セル、從テ其ノ特性ヲ發揮シ其ノ效能ヲ大ナラシムルニ足所以ナリトセラルルノミノ事デアアルカラ、必ズシモ常ニ保管ハ混合保管デナクテハナラヌト云フ譯

ハナイ。現ニ酒田米券倉庫ノ如キニ於テハ預米保管ノ方法ヲ二種ニ區別シ、此ノ混合保管ヲ爲スモノヲバ乙種預米ト名ケ、之ニ對シテ又別ニ甲種預米トシテ產地銘柄等級份量ヲ問ハズ袋裝ノ儘寄託者ヲ異ニスル毎ニ別々ニ保管スル事ヲモ行ツテ居ル次第デアル³⁰⁾。サレバ即チ此種ノ個別的保管ハ之ヲ爲シテ惡イト云フコトハ無イガ、米券倉庫トシテハヤハリ混合保管ヲ行フヲ本則トス可キモノナリト云フダケノ事ハ之ヲ認メナクテハナラヌ。

仍テ之ヲ攷フルニ、米穀ノ混合保管ヲ爲スガ爲メニハ、其ノ入庫ニ際シテ十分精密ナル検査ヲ行フノ必要ガ觀面ニ表ハレ來ル次第アツテ、其ノ十分公正ニ行ハレ又技術的ニ完全デアリ、從テ其ノ検査ハ廣ク市場ニ於テ信用ノアルモノタルヲ要スルコトハ、必ズヤ茲ニ表ハレ來ラザルヲ得ザル問題デアル。而シテ今ヤ我國ニ於テハ米穀ノ検査ハ產米改良ノ第一要義トシテ廣ク各地方ニ行ハルル所デアリ、其ノ検査ハ府縣ノ手ニ依テ之ヲ行フト同業組合ノ手ニ依ツテ之ヲ行フトヲ問ハズ、大抵之ニ強制的性質ヲ帶バシメ頗ル嚴正ニ行ハレツツアル實狀デアレバ、米券倉庫ニ於テ、自己ノ手ニ依ツテ入庫穀物ノ検査ヲ行フノ必要ハ今ヤ殆ンド無クナツタト云ツテ可イノデア^ル。而シテ斯クナツテ來タ事ハ實ニ現今我國ノ米穀検査ヲシテ大ニ信用アリ效果アルモノタラシメタ所以ナリト云ハチバナラヌ。

序ナレバ少シク我國ノ米穀検査事業ニ就イテ見ルニ、米穀検査ノ初メテ行ハルルニ至ツタノハ明治三十一年ノ事デアツテ、山口縣ノ防長米同業組合ト滋賀縣ノ近江米同業組合トガ之ニ手ヲ着ケタノヲ以テ嚆矢トスル。斯クテ其ノ翌年ニハ佐賀縣ニ於ケル肥前米麥同業組合モ之ヲ行フニ至

リ、其後奈良縣其他ノ地方ニ於テモ之ニ倣フモノヲ見ルニ至ツタガ、同業組合ハ公法人タリトハ云ヘ、其ノ有スル權威ハ到底地方自治體ノ如ク大ナルヲ得ズ、從テ其行フ所ノ検査モ亦十分嚴正ナルヲ得ザル事情モアリ、其他色々不便ノ多カツタガ爲メニ、其後ハ漸次ニ各府縣ニ於テ府縣自身ガ之ヲ行フノ方針ニ傾キ、明治三十四年大分縣ガ率先シテ之ヲ行フコトトシテ以來ハ、岡山、鹿児島等相亞イデ之ヲ行ヒ現今ニテハ府縣自ラ之ヲ行フモノ二府三十縣ノ多キニ及ムダ。³¹⁾

検査ノ種類ハ生産検査ト輸出検査トノ兩者ニ分レテ居リ前者ハ生産地ニ就キ米穀ノ所在ニ於テ之ヲ行フモノデアリ、後者ハ外國若クハ他府縣ニ輸出サレル米穀ニ對シテ港灣停車場其他概要ノ地或ハ輸出米検査員出張所若クハ検査吏員ノ指定セル場所ニ於テ之ヲ行フモノトセラレテアル。検査ノ等級ハ大抵五等級ニ分タレテアルガ、之ハ勿論府縣ニ依ツテ異同ガアル。例ヘバ京都府ノ如キハ三等級ニ分チ、奈良三重ノ兩縣ノ如キハ生産検査ハ三等級輸出検査ハ四等級ニ分ケテ居ル。

其他茨木縣栃木縣ハ^{〔生産検査ハ合格、不合格 輸出検査ハ五等級〕}新潟縣埼玉縣及ヒ千葉縣ハ^{〔生産検査ハ三等級 輸出検査ハ五等級〕}兵庫縣ノ如キハ^{〔玄米ハ三等級 精米ハ五等級〕}區分サレテアル。次ニ俵裝ハ今キ各地何レモ二重俵ト爲シ、其ノ容量

ハ全國殆ンド四斗入ニ統一セラレテ居ルガ時期ヲ限ツテ増米ヲ爲サシムルモノモ有ル。而シテ検査ノ手数料ニ至ツテハ各地頗ル不同デアツテ最低ハ一俵一駄若クハ一袋ニ付キ一錢ヨリ最高五錢

ニ迄及ムデ居ル(例ヘバ五錢ハ宮城縣、四錢ハ鳥取縣、廣島縣、宮崎縣、鹿児島縣、三錢ハ京都府、大阪府、二錢ハ新潟縣

埼玉縣、千葉縣、茨城縣、愛知縣、一錢五厘ハ兵庫縣、栃木縣、奈良縣、一錢ハ三重縣)³²⁾

斯クテ穀物検査事業ガ穀物改良ニ及ボス效果ニ就イテハ農商務省ハ其ノ主要ナルモノトシテ左

31) 明治三十四年大分縣一同三十六年岡山縣一同三十七年鹿児島縣一同三十八年宮城縣、秋田縣、富山縣一同三十九年三重縣、青森縣、石川縣一同四十年新潟縣、德島縣、井ノ島根縣、香川縣一同四十一年兵庫縣一同四十二年栃木縣、廣島縣、大正元年愛知縣、島根縣、大阪府、茨城縣、山形縣、鳥取縣、福岡縣、熊本縣、宮崎縣、愛媛縣、同四十四年大分縣一同二年千葉縣一同四年京都府、埼玉縣、奈良縣、岩手縣、同知縣、岐阜縣一同二年千葉縣一同四年京都府、埼玉縣、奈良縣、岩手縣、同知縣、米穀検査ニ關シテハ大正五年三月『穀物検査事業要覽』(農商務省農務局調査ニ據ル)

ノ數項ヲ掲ゲテ居ル。³³⁾

- 一、乾燥良好ナラシムルヲ以テ腐敗變質又ハ虫害等ニヨル減損歩合少ク之ヲ精白スルニ當リテハ搗減歩合少シトス
- 二、袋裝堅牢ナルヲ以テ繩切袋切等ノ亂後少キノミナラス運搬取扱ノ際ノ脫漏米ヲ減少ス
- 三、品位ヲ一定シ等級ヲ區別セルガ故ニ等級賣買ヲ行フニ便ニシテ取引ヲ圓滑ナラシム
- 四、容量一定ナルヲ以テ賣買取引ニ際シ斛廻シノ手數ヲ省略スルコトヲ得
- 五、袋裝整一ナルヲ以テ倉積スルニ積方ニ便利ニシテ且ツ面積ヲ最小ナラシム

洵ニ其通りデアルガ、唯ダ検査事業ニ就イテ一番ニ困難ヲ感ズル事情ハ検査員ニ適當ナル有爲堪能ノ者ヲ得ルノ困難ナル事之デアル。我國ニ於ケル米穀検査ハ實ニ全ク人ノ熟練ト鑑識力トニ依頼スル検査デアツテ、容量及ビ重量ヲ衡ルガ爲メニ斛及ビ衡器ヲ用フル以外ハ、乾燥ノ程度ヲ見ルニ就ケテモ雜物ノ混入ヲ檢スルニ就ケテモ、何等機械ト云フモノヲ用ヒズ、全然人ノ眼ニ依テ品質ノ檢定ヲ爲シ、例ヘバ註ニ掲グルガ如キ一々ノ條件ヲ一睨ノ下ニ査定セザル可ラザルモノナレバ、検査員タル者ハ十分技術ニ熟達セル且ツ判斷力ノ鋭敏ナル者ヲ必要トスル次第デアル。

註ニ米穀査定標準

- (一) 品質——子粒堅硬豐肥、量目重ク皮薄ク縱筋淺ク、腹白ク胴割少ク、青米赤米ヲ混セス味佳良ナリト認ムルモノヲ可トス
- (二) 形狀——子粒稍太ク長ミヲ帶ビ整一ナルヲ可トス
- (三) 色澤——單純ニシテ固有ノ色彩アルモノヲ可トス
- (四) 乾燥——良好ニシテ保存久シキニ堪ヘ搗減歩合少シト認ムルモノヲ可トス³⁴⁾
- (五) 調製——精良ニシテ土砂、稗、秕、碎米、粃米等ヲ混セザルヲ可トス

33) 穀物検査事業要覽五頁

34) 鳥取縣米穀検査所年報(第四報)八四、五頁

斯ノ如キ有爲堪能ナル技術員ヲ多數ニ要スル次第デアレバ、各府縣等ニ於テハ、其ノ十分技能優秀ナル者ヲ得ムトスレバ之ガ爲メ頗ル多額ノ經費ヲ要スルコトナツテ、到底行フ可ラザル所デアルカラ、今ヤ大抵割合ニ少キ經費ヲ以テ頗ル薄給ナル者ヲ使用シテ居ル實狀デアルガ、現今普通之ヲ見ルガ如キ、薄給ヲ以テシテハ到底完全ナル検査ヲ行フニ足ル可キ技術員アル多ク者ヲ得ルコトハ困難デアラウ。此點ハ實ニ困難ナル、然カモ改善ヲ要スル所ト云ハナクレバナラヌ。惟フニ米穀検査ニ關シテハ技術的ニ研究ヲ要スル所ノモノ頗ル多大ナル可ク、或ハ米國ヤ加奈陀ナドニ於テ行ハレツ、アル穀物検査ノ實狀ト其ノ設備トハ、取テ用ユ可キモノヤ習フ可キモノノ少カラヌコトデアラウ⁽³⁵⁾

検査ニ關スル事ハ夫丈ニシテ、扱テ本題ニ立歸ツテ致フルニ、府縣ニ於テ其ノ公ノ機關ニ依リ嚴正精密ナル検査ノ行ハレル地方ニ於テハ、米券倉庫ガ其ノ入庫穀物ヲ自己ノ手ニ於テ検査スルノ必要ナキハ勿論、其ノ混合保管ヲ爲スニ當ツテモ、俵裝ヲ解イテ完全ナル混合ヲ行フノ必要ト利益トモ甚ダ薄キモノトナリ、公ノ検査ニ依ツテ定メラレタル等級ニ依リ、俵裝ノ儘之ヲ保管スルガ、手數モ省ケ俵減モ少ク俵裝ノ破損モ少ク、害蟲ノ侵入シテ喰害スルノ割合モ少ク、且ハ又市場ニ於ケル信用モ厚クシテ其ノ米穀ノ商品トシテノ估價ヲ大ナラシムル所以トナルデアラウ。何レニシテモ米券倉庫ノ成立ト發達トノ爲メニハ、此ノ米穀検査ト云フコトハ必要缺グ可ラザル所ノモノデアツテ、検査ハ公權力ニ依テ行ハルルヲ以テ最も公平有效ナルヲ得ルデアラウ。

(ロ) 次ニ保管米ニ對スル證券發行ノ事ニ關シテハ、先ニ米券倉庫ノ組織ヲ論ズル際ニモ既ニ之ヲ

35) 英領加奈陀穀類検査概要(大正五年四月臺灣總督府民政部殖産局發行)ハ參考ニ値スル頗ル要領ヲ得タモノデアル。

述ベタ所デアリ後ニモ又此ノ問題ニ就イテ論ジナケレバナラヌカラ、此所ニハ多クヲ言ハヌコト
トスルガ、其ノ所謂證券ナルモノガ唯ダ倉庫ガ米穀ノ寄託ヲ受ケ之ヲ預リタル證據トシテ寄託者
ニ交付スル預リ證文タラズシテ、在庫ノ米穀ヲ物權的ニ代表シ、ソレ自身ガ權利所持者 *Rechts-*
*titel*トシテ、之ニ依ツテ在庫米ノ賣買讓渡ヤ質入ヤガ行ハルルモノタル、完全ナル意味ノ商法上
ノ證券デアルナラバ、其ノ發行ハ人格ヲ持ツタ者デナケレバ爲シ得ヌ筈デアル。即チ完全ニ權利
義務ノ主體タルヲ得ル資格ヲ備ヘタ者デナケレバ之ヲ爲シ得ヌ次第デアル。茲ニ於テカ此ノ意味
ノ證券ヲ發行シ得ムガ爲メニハ、米券倉庫ノ組織ハ、株式會社カ合名若クハ合資會社カ、然ラザ
レバ產業組合カ、若クハ又民法上ノ公益法人カ公法人カ兎モ角人格ヲ持チ得ル組織ニ依ラナケ
レバナラス。然モ我國ニ於テハ米券倉庫ガ發行ス可キ證券ノ特別ノ形式ガ法律ニ依ツテ規定セラ
レテナイノデアルカラ、將來ハイザ知ラズ之ヲ缺グ現狀ノ下ニ於テハ商法ノ規定ニ依ル倉庫證券
(預證券、質入證券)ノ形式ニ從ツテ之ヲ爲スノ外ハナイ。即チ商法ノ規定ニ從ツテ之ヲ發行スル
モノデアルカラ、其ノ行爲ガ商行爲トシテ商法ノ適用ノ下ニ規律セラルルハ勿論ノコトデアリ、
爲メニ即チ米券倉庫ナルモノハ、今ノ所、完全ナル證券ノ發行ヲ爲サントスル限り、商的性質ノ
モノトナルノ外ハナイノデアル。斯クテ即チ現狀ハ主トシテ農民ノ利用ノ爲メニ有ル可キモノト
セラルル米券倉庫ハ、却テ商法ノ規定ノ下ニ立ツ商的ノモノトシテ、寧ロ農民ノ利益トハ一致シ
難イ事情ニ迫ラルルヲ免レヌ羽目ニ陷リ易キ狀態ニ在ル次第デアル。我國現時ノ米券倉庫ナルモ
ノガ頗ル曖昧ナル、性質ノ明確ナラザル、旗幟ノ鮮明ナラザル、農商仲生兒ノ如キモノタル所以

ハ、實ニ此所ニ存スルモノト云ハナケレバナラス。斯クテ即チ證券發行ヲ完全ニ行ハントスルモノハ商法ノ規定ヲ受クル商的ノモノトナリ、農的ノモノトシテ乃至ハ公益ヲ主トスルモノトシテ他ノ組織ニ依ラントスルモノハ或ハ人格ヲ得ル能ハズ(民法ノ組合契約ニヨルモノノ如キ)、或ハ人格ハ之ヲ有スルトモ證券發行ヲ爲ス可キ法規ノ備ハラズ形式ノ定メラザルガ爲メニ之ヲ爲シ得ザル(産業組合ノ組織ニヨルモノノ如キ)有様トナツタ次第デアツテ、洵ニ右スルモ行詰リ、左スルモ行詰リ、進退維レ迷ハザルヲ得ザル境遇ニアルノデアル。此點ハ速ニ之ヲ一定シ、證券ノ發行ヲ許ストモ許サヌトモ、從テ組織ハ之ヲ如何様ニサストモ、兎モ角之ヲ法ノ上ト實地ノ上ニ於テ統一スルノ必要ガアル。而シテ吾人ハ農業倉庫ニ關シテハ證券ノ發行ハ其弊却テ其利ニ勝ルモノタルヲ信ズルガ故ニ、之ヲ行ハシメヌ方針ノ下ニ法ヲ立テ又實際ノ獎勵ノ行ハレムコトヲ希望セザルヲ得ナイ者デアル。

尙ホ立歸ツテ、一般ニ米穀ノ保管ト云フ事ニ就イテ見レバ右イロノ二重要事項ノ外ニ保管ノ期間、保管料等ニ關スル問題ガアリ、更ニハ又保管ノ設備ノ第一要義タル倉庫ノ構造ノ問題ガアル。先ツ保管期間ニ就イテハ、大抵毎年十一月一日ヨリ翌年十月三十一日迄一ケ年ト定メラレ、之ヲ一期間トシテ其後ニ猶ホ預託ヲ繼續セムトスル者ハ、其ノ契約ヲ更新ス可キモノトセラレテアル。而シテ契約ヲ更新スル場合ニハ證券ノ發行サレタルモノハ之ヲ書替ヘ、又其際在庫殘存米ノ検査ヲ行ヒ其ノ等級ヲ更訂スル所モアル、惟フニ、斯ノ如ク期間ヲ定メ割合ニ其ノ規定ヲ嚴重ニスルハ、³⁶⁾預託ノ無制限ニ延長セラレ無秩序ニ陷ルヲ防グ方法トシテ已ムヲ得ヌ所デアラウ。

36) 自毎年十一月一日至翌年十月三十一日＝山形縣、熊本縣、廣島縣等大抵皆然リ、
 唯鳥取縣ハ入庫日ノ如何ニ拘ラス翌年十月三十一日迄チ一期トスル。
 37) 山形縣、熊本縣等皆然リ。
 38) 熊本縣ニ於テ之ヲ行フ。
 39) 例ハ山形縣デハ期限ニ至リ出庫セザルカ或ハ寄託繼續ノ手續ヲ怠リタルトキ
 ハ商法第三百八十一條ノ規定ニ依リテ處分シ滿期後二倍ノ保管料ヲ徴收スルコ
 トトセラレテアル。

次ニ保管料ニ就イテ見ルニ、其高ハ地方ニ依ツテ區々デアルガ、縣下ダケハ統一セラレタモノアル。

註一 酒田米券倉庫—十石ニ付キ一ヶ月貳拾五錢トシ入庫ノ時ハ一ヶ月分ト看做シ出庫ノトキハ其月十五日ノ前後ニ依リ全月分若クハ半月分ヲ徴收ス。⁴⁰⁾

熊本縣—一ヶ月ニ付キ一俵八厘乃至一錢。⁴¹⁾

廣島縣—一俵一ヶ月普通一錢。⁴²⁾

鳥取縣—入庫日ニ拘ラズ生産年度ノ翌年三月迄ハ一俵ニ付キ四錢トシ(現今ハ五錢ニナツテ居ルヤウデアル)四月以後ハ一俵

ニ付每一ヶ月ニ五厘(現今一錢)ヲ増課ス但シ期間後ニ於ケル保管料ノ割増金ハ一俵ニ付一ヶ月ニ一錢(現今二錢)トス尙出庫ニ際シテハ月初三日迄ハ其月ノ割増金ヲ免除ス。⁴³⁾

三重縣龜山米券倉庫—一俵一ヶ月ニ付キ一錢。⁴⁴⁾

滋賀縣鎌掛村米穀倉庫—無料。⁴⁵⁾

先ヅ一俵ニ付キ普通一ヶ月一錢ト云フ所デアルガ、此外尙ホ入庫取扱手数料ヤ證券發行手数料ヤ火災保険料等ヲ要スル。

註二 例ヘバ酒田米券倉庫デハ倉入取扱手数料トシテ十石ニ付六錢火災保險料十石ニ付キ一ヶ月五錢ヲ要スル。⁴⁶⁾又鳥取縣デハ證券一枚ニ付キ二錢五厘ノ手数料ヲ徴收スル。

一俵一ヶ月一錢ト云フ保管料ハ決シテ高キニ過グルトハ云ハレナイノデアツテ、米券倉庫ガ純然タル營利事業タラズ、頗ル公益的性質ヲ有シ農民ノ利便ト云フコトヲ第一義ト爲ス以上ハ、保管料ノ如キハ出來得ル限り之ヲ低安ニス可キハ固ヨリ其ノ所デアル。滋賀縣鎌掛村ノ米穀倉庫ノ如ク無料ニテ保管ヲ爲スガ如キハ甚ダ面白イ事ト云ハネバナラス。

尙ホ保管米ノ紛失、盜難、雨漏、鼠切、俵破等ニ對シテハ倉庫ハ其ノ損害賠償ノ責ニ任ズルガ普通デアルガ、天災事變其他抗拒ス可カラザル事由ニ依リテ生ジタル損害、米質ノ自然的變化ヨリ生ジタル損減リ等ニ對シテハ其責ニ任ゼザルヲ例トスル。

最後ニ倉庫ノ構造ニ就イテ一言シナケレバナラヌガ、之ハ専ラ技術上ノ問題ニ屬シテ居リ、從テ其ノ構造ヲ技術的ニ如何ニス可キカハ、之ヲ其道ノ人ニ聞キ其ノ研究ニ任スノ外ハナイ。タダ獨逸ナドノ如ク空氣ノ乾燥シタ所デハ、貯藏穀物ハ不斷ニ之ヲ空氣ニ觸レシムルヲ必要トシ、從テ倉庫ノ構造モ之ヲ彼ノ搖座式 Schüttbodensystem ニスルヲ可トスルコトモアラウガ、我國ノ如ク空氣ノ濕潤ナル國ニ在ツテハ、貯藏ニ先ツテ十分乾燥セラレタル米穀ヲバ、貯藏中ハ成可ク密閉シテ外氣ニ觸レシメヌ様ナ工夫ヲシ、之ニ適スル倉庫ノ構造ヲ爲スコトガ必要デアル。從テ我國ノ穀物倉庫ノ構造ハ穴藏式 Silosystem ノモノタルヲ要スルヤ勿論デアルガ、然シ實際ニ於テハ又一概ニ其ウバカリモ云ヘヌ事情ガアル。現ニ吾等ガ本夏島取縣ノ米券倉庫ヲ觀察シタ際、技術員ノ人々ノ語ル所ニ依ルト、同地方デハ、近者右ノ理窟カラ密閉ノ成可ク完全ナル様ニト入念ニ建テラレタ新式ノ倉庫ニ於テ貯藏ノ成績ガ太ダ惡ク、在庫米ノ鬱蒸ヲ來シテ變質ノ害ヲ被ルコト多キニ反シテ、却テ舊來ノ不完全ナル倉庫ガ風通ノ好イダケソレダケ米穀ノ保存ニモ成績ガ好イトノコトデアツタ。惟フニ之ハ同地方ニ於テ取入後ノ乾燥ノ十分ニ行ハレ難イ原因ガアツテ、其爲メニ入庫米ノ乾燥ノ十分ナラズ、之ヲ倉庫ニ密閉スルニ於テハ水分ノ蒸發ノ爲メニ庫中ノ鬱濕ヲ來ス譯デアラウ、從テ舊來ノ不完全ナ倉庫ガ氣流ノ出入自在ナル爲メニ在庫穀物ヲ在

47) 此ニ關シテハ「穀物倉庫論」(本誌第一卷第六號掲載) 中穀倉ノ構造ノ部分ヲ參照アリタシ

庫中ニ多少乾燥サセ少クトモ其ノ鬱蒸ヲ免レシムルモノデアラウ。サレバ問題ハ入庫前ノ乾燥ヲ十分十二分ニシテ、入庫ノ上ハ之ヲ完全ニ密閉スルノ方法ガ取レタラ、ソレガ最も好イト云フコトニナル筈デアル。

尙ホ倉庫ノ構造ニ關聯シテ米穀保存上有用ナ事ハ彼ノ二硫化炭素ニ依ル害虫驅除ノ事デアルガ此等ノ問題ハ技術家ノ研究ニ一任スルコトトシテ、此ニハ之ヲ述ベス。

(二) 二次ニ大切ナル米券倉庫ノ事業ハ保管米ニ對スル金融デアル。米券倉庫ガ此ノ金融ヲ爲スニ當ツテハ、其ノ事業ノ一部局トシテ特別ニ融金部ヲ設ケテ之ヲ爲スモノト、自ラハ其業ニ當ラズ普通銀行ト連絡ヲ取り之ヲシテ其任ニ當ラシムルモノトガアル。熊本縣其他諸地方ノ米券倉庫ハ前者ノ例ヲ爲シ、倉庫ハ附屬事業トシテ融金部ヲ設ケ倉庫預リノ米券ニ對シテハ何時ニテモ低利ノ融金ヲ爲ストセラレテアル。然ルニ廣島縣ノ米券倉庫業務規定ナルモノヲ見レバ、倉庫ハ豫メ確實ナル銀行ト連絡ヲ計リ米券ニ對スル融金ノ取扱ヲ爲ストアルカラ、之ハ後者ノ例ト爲ス可キデアル。

何レニシテモ米券倉庫ノ業務トシテハ此ノ金融ノ事ハ米穀ノ保管ト云フ事ト相並ムデ、之ト相讓ラザル程度ニ於テ重要ナル意義ヲ有スルモノデアツテ、金融ノ爲メニ保管サレ、保管サルルガ爲メニ金融ノ得ラレ、兩者ハ實ニ米券倉庫ノ意義ヲ決定シ其ノ效能ヲ發揮セシムルニ大要ヲ爲スモノト云ハナケレバナラヌ。而シテ米券倉庫自ラガ一方保管部ニ於テ預リタル米穀ニ對シテ他方融金部ニ於テ之ニ金融ヲ爲ス場合ニ於テハ勿論ノコト、米券倉庫ニ預入サレアル米穀ニ對シ之

ト業務上ノ連絡ヲ有スル銀行ガ金融ヲ與フル場合ニ於テモ、現ニ倉庫内ニ存在シ、然モ嚴重ナル検査ニ依リテ同品種同品等ノモノノ混合保管サレタル米穀ガ其ノ融金ノ擔保トセラレル譯デアレバ、金融ヲ與フル倉庫ナリ銀行ナリハ、頗ル確實ナル、又商品トシテ處分ノ容易デ且ツ品質等級ノ一定シタル擔保物件ヲ握リ居ルコトトテ十分安神シテ融通ヲ爲スコトガ出來ル。又生産者タル農民測ニ於テハ、啻ニ米穀ノ安全ナル保管ヲ得ルノミナラズ、其ノ賣買ノ時期ヲ待ツ間ニ於テ已ニ之ヲ資金化スルコトガ出來、以テ一時ノ資金必要ノ急ヲ辨ズルヲ得、從テ其ノ米穀ノ賣却ヲ急グノ必要ガナクナリ、市場ノ狀況ノ最モ販賣ニ都合ヨキ折ヲ見テ之ヲ賣放ツコトガ出來、生産者ノ利益ハ之ガ爲メニ太ダ以テ擁護セラレ、市場ニ於ケル其ノ供給者トシテノ地位ヲ堅固ナラシメラレルモノデアル。更ニ又之ヲ米價一般ノ上カラ見ルモ、右ノ事アルガ爲メニ、米價ハ米穀ノ出盛期ニ著シク下落シ端堺期ニ至ツテ大ニ騰貴スルト云フガ如キ、著大ナル變動ノ多少トモニ緩和セララルコトトナリ、價格ハ依テ以テ幾分公平準ニ近寄ルコトガ出來、一般消費者モ爲メニ勘カラヌ利益ヲ得ルコトトナル次第デアル。サレバ米券倉庫ニ預託サレル米穀ガ、或ハ倉庫自身ニ依リ或ハ之ト連絡アル銀行ニ依リテ金融ヲ得、資金化スルヲ得ルト云フコトハ、實ニ米券倉庫ナルモノヲシテ、生産者ニ對シ又國民經濟ニ對シ效能アルモノタラシムル隨一ノ要件ヲ爲スモノト云ツテモ大過ナイノデアル。

然リ而シテ此ノ金融ノ問題ニ關シテモ亦之ヲ證券ノ發行ト伴ハシム可キヤ否ヤノ問題ノ起リ來ラザルヲ得ナイ。現今山形縣、熊本縣其他ノ米券倉庫ニ於テハ證券(即チ米券)ヲ發行シテ之ヲ質

入擔保トシテ金融ヲ爲スコト既述ノ如クデアツテ、其ノ證券ハ商法ノ規定ニ從ヒ預證券ト質入證、券トノ二枚制ニ依リ、共ニ裏書ニ依ツテ其ノ賣買及ビ質入ノ行ハル可キモノデアルガ、之ニハ甚大ノ便宜ト同時ニ隨分ノ危險ノ伴フモノナルコト、又吾人ノ既ニ詳論シタル如クデアル。吾人ノ見ル所ヲ以テスレバ、金融ハ證券ノ形式ニ依ラズトモ、普通ノ質入ニ依ツテ十分有效且ツ簡易ニ行ハレ、米穀ニ對シテ金融ヲ得之ヲ其ノ賣却以前ニ於テ資金化スルノ利便ハ十分ニ之ヲ得ラルル次第デアレバ、何モ證券發行ニ伴フ危險ヲ犯サズトモ、普通ノ質入ニ依ツテ事足ルモノト云ハナクレバナラヌ。即チ吾人ハ一般的ニ農業倉庫ガ證券發行ヲ爲ス制度ヲ探ルヲ不可トスルモノデアルカラ、此ノ金融ノ問題ニ關シテモ證券發行ヲ伴ハザル方法ニ依ル仕組ヲ立ツルヲ可トスト主張セムトスル者デアアル。而シテ吾人ハ此ノ方法デ以テ決シテ金融上ノ實地ノ不便ハナイモノト信ズル。現ニ鳥取縣ニ於テ吾人ノ實地ニ聞キ得タル所ニ依ルモ、商法ノ規定ニ準據スル證券ヲ發行スルコトヲ得ル米券倉庫デアリ乍ラ、實際ニ於テハ米穀寄託者ガ證券ノ形式的取扱ノ煩鎖ニシテ餘リニ物々敷ヲ嫌フノ風アルガ爲メニ、多ク之ヲ發行セズシテ、預託米ニ對シテハ唯タ單純ナル預證券ヲ交付スルニ過ギズ、之ニ依ツテ金融ハ簡單ニ然カモ有效ニ行ハレツツアルト云フコトデアアル。此事ハ長ニ參考トス可キ面白い事實デアツテ、證券制度ガ理窟ノ上ニ於テ農業倉庫ニ歡迎ス可ラザルモノタルノミナラズ、實地ニ於テモ農民ノ餘リ之ヲ喜バズ又之ヲ必要トセザルコトヲ表明スルモノト云ハネバトラヌ。要スルニ吾人ハ證券制度ハ農業倉庫ニハ不適當ノモノト爲ス者タルヲ重複ヲ厭ハズ茲ニ又繰返シ言明セムト欲スル者デアアル。然ルニ農業倉庫ノ獎勵方法等ニ關ス

ル農商務省ノ諮問ニ對シ帝國農會ノ如キハ、ヤハリ此ノ證券發行制度ヲ採ル方針ニ依ツテ答申シタルモノ、如ク傳ヘラルルハ、頗ル其意ヲ得ヌ次第デアル。

尙ホ金融ノ問題ニ關シテハ米穀ノ價格ニ對スル融金歩合ノ如何ト其ノ利子ノ高低如何ト云フコトガ殘ツテ居ル。之ハ固ヨリ地方ノ異リ時ノ異ルニ依リテ相違アル可キ筈デアルガ、一例トシテハ三重縣龜山米券倉庫ノ如キハ、『米券ニ對スル金融ハ現米市價ノ九割内外ニシテ其ノ利子ハ口步貳錢乃至貳錢壹厘トス故ニ農家ニ與フル所ノ便益少カラザルカ如シ』ト報ジテ居ル。之ハ明治四十四年刊行ノ農務彙纂ニ載セラレタル所ナレバ、現今ハドウ變化シテ居ルカ解ラヌガ、若シ現米市價ノ九割内外ノ融通ノ行レルモノトスレバ、頗ル寛大ナル融通ノ行ハレルモノト云ハナケレバナラヌ次第デアツテ、米國ナドニ於テ、普通ニ市價(最近ノ地ニアル取引所ノ公定相場)ノ四分三位シカ融通セヌ⁵⁰⁾ト比較シテ見テ、彼我ノ間大イナル遲延アルモノト云ハネバナラス。若シ我國諸地方ノ米券倉庫ガ大多數皆ナ此ノ龜山米券倉庫ノ例ノ如キ程度ニマデ大ナル歩合ノ融通ヲ爲スモノトスレバ、爲ニ被ル農民ノ利便ハ成程多大ナルモノト云フノ外ハナイ。尙ホ吾人ガ鳥取縣獎惠社ニ就イテ聞イタ所ニ依ルモ、融通ハ米穀時價ノ八割見當ト云フコトデアリ、貸付利子歩合モ普通ヨリ日歩ニ於テ二厘方低安ニ取扱ツテ居ルト云フ話デアツタカラ、彼此併セ致ヘテ、米券倉庫ハ貸付歩合利子歩合共ニ預託者ニ對シテ出來得ル限りノ便益ヲ與ヘントスルモノナルコトハ之ヲ認メテヤラネバナラス。

(四) 次ニ注意ス可キ米券倉庫ノ事業ハ入庫米穀ノ賣買ノ受託ト云フコト之デアル。之ヲ行ツテ居

50) 前掲農務彙纂一五七頁

51) O. Böhm, a. a. O. S. 28.

ル顯著ナル例ハ熊本縣ノ米券倉庫デアル。此ノ業務ハ米券倉庫ナルモノガ農業倉庫トシテ主トシテ農民ノ利用ノ爲メニ存シ、其ノ米穀供給者トシテノ地位ヲ強固ニスルト云フ事ヲ存在ノ主タル理由ト爲スモノトスルニ於テハ、太ダ重視ス可キ所デアツテ、米券倉庫ニ依ツテ一種ノ有效ナル共同販賣ノ實ノ舉ガルモノタルヲ得バ、ソガ農生産者ノ利益ニ貢獻スル所ハ多大ナルヲ得可キ筈デアル。唯併シ乍ラ注意ス可キハ、米穀ノ販賣ト云フ仕事ハ簡單ナ様デアツテ實ハ可也六ヶ敷イ仕事デアリ、技術的智識ヲ要スルコトノ多キニ加ヘテ商的掛引モ必要デアリ、賣買市場ノ景況ニ應ジテ好ク時機ヲ見、好機會ヲ捕ヘテ有利ナ條件デ以テ、賣却ヲ爲シ得ムコトハ、十分ナル企業能力ヲ備ヘタ者ニシテ甫メテ之ヲ爲シ得可ク、從テ共同販賣若クハ受託販賣ニ於テ、優良ナル成績ヲ上グルハ事實ニ於テ餘リ容易ナ事業デナイト云フ事之デアル。熊本縣ナドニ於ケル實地ノ成績ノ如何デアルカハ、吾人ノ知ラザル所デアルガ、廣島縣アタリニシテモ其他何レノ地方ニシテモ、此ノ受託販賣ノ多少トモニ行ハルル所ニ就テ其ノ實際ノ成績ヲ適確ニ研究シテ見ルハ必要ダト考ヘラレル。而シテ其ノ成功ノ理由ト失敗ノ原因トハ大ニ講究ヲ必要トシ參考ニ值スルモノダト思フ。獨逸ニ於テ試験的ニ行ハレタル普露西ノ穀物倉庫組合ガ、彼ノ大イナル國庫ノ補助アリタルニ拘ラズ一敗地ニ塗ミレタ所以ノモノハ、主トシテ實ニ此ノ販賣事業ノ甘ク行カナカツタ點ニ存スルノデアツテ、其ノ餘リニ大規模ナリシコトト、理事者ニ能力ヲ缺キタルコトト組合員ニ共同の精神ノ乏シカリシコトトハ、其ノ大原因ヲ爲スモノデアアル。之等ノ事實ハ頗ル參考トナル次第デアツテ、米券倉庫ノ事業トシテモ、大ニ鑑ム可キ點ガアルデアラウ。

(五) 次ニ小作料徴收ノ受託ト云フコトモ熊本縣其他ノ地方ニ於テ實行セラレテ居ル米券倉庫ノ重要業務ノ一デアツテ、此事ガ主タル理由トナツテ米券倉庫ノ發達ヲ促シタ事情アルハ之ヲ認メナクテハナラヌ。而シテ此ノ業務ハ甘ク行キサヘスレバ地主及ビ小作人双方ニ取ツジ共ニ甚ダ便宜多キ次第デアツテ、兩者共ニ之ニ依ツテ無用ノ時ト勢力ト費用トヲ省節スル事ガ出來ル。然シ又此ノ業務ハ地主ト小作人トノ意思疏通ノ甘ク行ハレヌ場合ニ於テハ、米穀検査ノ事ト相待ツテ、地主ノ武器トシテ小作人ノ虐メラレル手段ニ供セラルルヲ得ル次第デアリ、米券倉庫ナルモノガ專ヲ地主ノ爲メニ存スル機關トナツテ、其惠終ニ小作人ニ及バズ、却テ之アルガ爲メニ兩者ノ利害衝突ヨリ反目族視ニ至ルノ勢ヲ成スコトガナイトモ限ラヌ。要スルニ便宜多キ業務タルト同時ニ注意ヲ要ス可キ事項タルヲ失ハヌノデアル、

(八) 最後ニ米券倉庫ガ其ノ事業ノ一トシテ、産米品評會ノ開催若クハ出品ヲ爲シタリ、種子肥料農具等ニ關スル改良ニ盡力シタリスル點ハ、既述ノ如ク米券倉庫ナルモノガ、唯ダ單純ナル營利的ノモノタラズシテ、頗ル公益的性質ヲ有スルモノタルノ理由ヲ形造ル要件デアルガ、此事業ヲ有効ニ行ハシメムガ爲メニハ、米券倉庫ノ組織ノ如キモ、之ヲ株式ヤ合資等ノ商事會社タラシムルヨリモ、ヤハリ産業組合ノ如キモノタラシムル方ガ都合カ好イノデアル。然シ其ノ問題ハ別トシテ兎モ角、米券倉庫ガ其ノ業務ノ一トシテ此種ノ公益事業ヲ營ムト云フコトハ、現在ノ意義ニ於テモ將來ノ發達ヲ計ル上ニ於テモ、實ニ重大ナル關係ヲ有スルモノト云ハナケレバナラヌ。米券倉庫ガ普通ノ穀物倉庫ト異リ一種特異ノ性質ヲ有スル理由ハ此所ニ存スルノデアルカラ、將來農

業倉庫ヲ如何ナル形ニ於テ發達セシムルニシテモ、此ノ點ダケハ好ク之ヲ保存シ又益々之ヲ獎勵シテ頗ル顯著ナル而シテ有効ニシテ貴重ナル大特色アラシムルヲ要スル次第デアル。吾人ハ今後ノ問題トシテ此點ニハ十分重キヲ置キタイト思フ者デアル。

五 米券倉庫ノ利弊

米券倉庫ガ齎ス利益ト之ニ伴フ弊害トハ、右ニ米券倉庫ノ組織及ビ其ノ業務ニ就イテ述ベタ所コリシテ、已ニ大抵之ヲ知ルコトガ出來ルノデアツテ、茲ニ更メテ多ク論議ス可キモノモナイ。然シ尙ホ一般の觀察ノ下ニ於テ多少議ス可キ問題ノ残り居ルコトデアレバ、其等ニ就テ少シク述ベテ見タイト思フ。

普通ニ米券倉庫ノ利點ト考ヘラルル所ノモノハ、前ニ度々之ヲ引用シタ農務彙纂第十八『穀物販賣組織ニ關スル調査』中ニ網羅セラレテ居ルカラ、便宜ノ爲メ左ニ之ヲ列舉シテ見ル。

(一) 貯藏ノ安全(特ニ損害賠償ノ保障アルコト)

(二) 自家倉庫ノ不必要

(三) 販賣上ノ利益

(イ) 米券ニ依リテ資金融通ヲ得可キニ依リ賣買ノ好時期ヲ待テ得ルコト

(ロ) 米穀ノ種類等級ノ公平ニ定メラルルガ爲メ此等ニ關スル商人ノ非難ヲ免ルルコト

(ハ) 米券ニ依リ賣買セラルルガ爲メ其ノ都度米價點檢ノ必要ナシ

(ニ) 米券ニ依リ隨便ニ共同販賣又ハ委託賣買ヲ行フヲ得從テ販路擴張ス

(四) 金融上ノ利益

(五) 勞費ノ節約

(イ) 所有ノ移轉毎ニ現米ヲ運搬スル手數ヲ省ク

(ロ) 米券ノ共通ニ依リ何レノ倉庫ノ米券ヲ以テシテモ何レノ倉庫ヨリモ現米ヲ引出スヲ得ルノ便モ有リ

(六) 産米ノ改良

(七) 穀裝ノ改良

(八) 小作米取立上ノ利便

(九) 米商人ノ利益

(イ) 一々生産者ニ就キテ買集ムルノ必要ナク整一ナル多額ノ米穀ヲ一口ニ買取ルヲ得

(ロ) 米券取引ハ現米取引ニ比シ危險故障少ク又取引上ノ勞費少キヲ得

(ハ) 取引所ノ受渡モ米券ニ依リ簡單ニ之ヲ行フヲ得

右ニ上グル所ハ大抵吾人ノ既ニ論及シタル所デアルカラ、茲ニ一々又之ヲ論ズルノ必要ヲ見ナイガ、就中(二)(九)トニ就イテハ一言禁ズ可ラザルモノガアル。

先ヅ(二)自家倉庫ノ不必要ト云フ事ニ就イテ考フルニ、之ニハ二點ノ注意スキモノガアル。先ヅ第一ニハ米券倉庫ノ普及發達ニ依リ、農業生産者ガ各人皆自家ニ倉庫ヲ所有スルノ必要ノナクナリ、多大ノ便宜ノ這間ニ生ジ來ル可キコトハ爭ヒ難キ所デアルガ、然シ今後ノ問題トシテ米券倉庫ノ普及ヲ獎勵シ、或ハ國庫金其他ノ補助ニ依ツテ各町村若クハ各部落ニ平均一個宛ノ米券倉庫ガ建造セラレトシテモ、其ノ全國ニ渉ル經費ハ莫大ナモノデアルノミナラズ、然カモ之ニ依ツテ從來農家ノ有スル大小種々ノ穀物倉ガ不用ニ歸スルニ至ルトスレバ、之ハ又國內全體ニ渉ル

問題トシテハ實ニ渺カラザル損失ト云ハネバナラヌ。斯クテ新ナル米券倉庫ガ建設サルルコトニ對シテ必要トセラレル積極的費用ト、從來ノ農家ノ米倉ガ不用ニ歸スルト云フ消極的費用トヲ合算スレバ、國民經濟全體トシテハ實ニ莫大ナル負擔ヲ被ルモノナルコトヲ考ヘナクテハナラヌ。今迄農家ハ穀物ノ貯藏ニ關シテ餘リ藏ヲ有セナカツタモノナラバ、問題ハ寧ろ簡單ダガ、從來全國大抵ノ所ニ於テ少シ農家ラシイ農家ハ自家ニ大小兎二角一棟ノ米倉ヲ持タヌモノハ無イト云ツテ可イ様ナ有様デアツテ、農家ガ米倉ヲ持ツハ、醫者ガ手車ヲ抱ヘテ居ルト同ジ様ニ、必要デモアルト同時ニ又一ノ見榮デアリ誇デアル。從テ農家ト云ヘバ大抵十ノ七八迄ハ兎毛角モ一棟ノ米倉ハ之ヲ有スル有様デアルカラ、之等ガ今大多數不用ニ歸シテシマウコトニナレバ、ソハ、農村ノ經濟ニ對シテハ大分著シイ變動ヲ與フルモノナルコトヲ承認セナクテハナラヌ。將來ノ問題トシテ米券倉庫ノ新築ヲ獎勵スルト云フコトニナレバ此點ヨリ生ズル利害ハ十分ヨク之ヲ攷量セナクテハナラヌ。今米券倉庫ノ利點ヲ擧グルニ就ケテ、何等此等ノ點ヲ顧慮スル所ナクシテ頗ル皮相的ニ自家倉庫ノ不必要ト云フコトヲ誇示スル譯ニハ行カヌノデアル。

次ニ又攷フベキハ、米券倉庫ノ普及發達シ、各生産者ガ自家用ノ米倉ヲ殆ンド有セナイト云フ狀態ニ迄事情ガ進ムデ來タ噫ニ於テハ、茲ニ又其ノ發達シタ米券倉庫ノ性質如何ニ依ツテハ、農民ハ却テ非常ナル難境ニ陥ルコトトナルカモ知レヌト云フ事之デアル。即チ農民ハ各自モハヤ米倉ヲ所有シナイト云フ狀態ニナレバ、彼ハ其ノ生産シタ米穀ノ貯藏ノ爲メニハ是非トモ之ヲ米券倉庫ニ預託シナケレバナラズ、他ニ之ヲ貯藏ス可キ場所ヲ有セザルコトトナル次第デアルガ、若

シ其ノ場合ニ米券倉庫ノ組織ガ産業組合組織デアルカ其他公共的若クハ共同的ノモノタルニ於テハ餘リ問題ハ起リ來ラヌデアラウケレドモ、若シソレガ株式其他ノ組織ニ依ル商事會社デアリ、現今之ヲ見ルガ如キ米券倉庫ノ其儘ノ形ニ於テ發達セルモノデアルニ於テハ、米券倉庫ハ其ノ營業ノ爲メニ誘惑サレテ、或ハ農民ガ他ニ米穀貯藏ノ方便ヲ有セズ是非トモ米券倉庫ヲ利用セザル可カラザルノ必要ノ下ニ在ル弱味ニ付ケ込ムデ、其ノ利益ヲ壟斷セント企テ、農民ノ犠牲ニ於テ米券倉庫ノ營業利益ヲ多大ナラシメントスルモノノ生ズルニ至ルガ如キコトモ決シテ起リ得ナイトハ限ラヌ。特ニ米券倉庫ガ現今ノ様ニ或者ハ商事會社トシテ商法ノ規定ノ下ニ立テ、商的事業トシテ經營セラルルモノアルニ於テハ、此等ガ大ニ發達シテ然カモ其ノ牛耳ヲ握ル者ガ商人ナルニ於テハ、恰モ米國ニ在テ之ヲ見ルガ如キ事情ノ生ジ來リ、穀物倉庫ノ發達セルガ爲メニ、農民ハ實ニ太シキ境難ニ陥リ、不利益ノ地位ニ立テテ、常ニ商人ノ爲メニ利益ヲ絞り取ラルルコトトナリ、倉庫ハ其ノ絞メ道具トナツテシマウ様ナ事情ヲ呈シ來ラヌトモ云ヘヌノデアル。此點ハ實ニ將來ノ問題トシテ農業倉庫ノ組織ヲ如何ニス可キヤト云フ問題ニモ直接至要ノ關係ヲ持ツ譯デアツテ、吾人ガ會社組織ヲ排斥シ其ノ商の性質ヲ減却セザル可ラズトナシ、共同的ナル事業トシテ農民ノ自助機關トシテ行ハルル産業組合ノ組織ニ據ラシム可シトスル理由ノ一端ハ亦實ニ此所ニモ存スル次第デアル。

要スルニ右二點ハ何レモ重大ナル意義ヲ有スルモノデアツテ、將來ノ問題トシテハ第一番ニ講究深慮ヲ要スル問題デアルカラ、農商務省ヤ府縣當局等ニ於テハ、十分慎重ニ考究アラムコトヲ希

望セザルヲ得ヌ。

次ニ(九)米商人ノ利益ト云フ事ニ就キテ考フルニ、此ノ利益ハ米券倉庫ノ發達シ其ノ米券ガ商的ニ利用セラルルコトノ大ナレバ大ナルホド、此ノ利益モ大ナル可キデアツテ、在庫米ヲ物權的ニ代表シ自ラガ權利所持者タル米券ニ依ツテ裏書ノ形式ヲ以テ米穀ノ賣買讓渡ノ行ハレ、又之ニ依ツテ取引所ノ受渡ノ行ハレルコトノ彌々盛トナルニ至ルニ連レテ、商人ガ商的ニ米券倉庫ヲ利用スルノ道ハ益々開ケ、商人ノ受クル利便ハ愈々大トナル可キデアル。而シテ今吾人トシテハ之ハ實ニ米券倉庫ガ商的ニ利用セラルルニ依リテ生ズル商人ノ利益タルコトヲ切言セザルヲ得ナイノデアル。即チ之レ商人ガ米券倉庫ヲ商的ニ利用スルニ依リテ受クル商人ノ利益ナルガ故ニ、其ノ利益ノ大ナレバ大ナルホド、米券倉庫ナルモノハ其ガ農業者ノ機關タル性質ヲ失ツテ、商人ノ商的利用ノ機關タル性質ヲ強メ來リ、米券倉庫ハ茲ニ即チ農業倉庫タルノ意義ヲ失ヒ、從テ其ノ獎勵ト、農業利益ノ維持増進ト云フコトトハ沒交渉ノモノトナツテシマハザルヲ得ナイノデアル。

兎モ角、此ノ商人ノ受クル利益ト云フ點ヲ高調スルコトハ、即チ之レ米券倉庫ナルモノヲ農業倉庫トシテ農業經濟上ノ目的ノ爲メニ普及セシムガ爲メニ、其ノ利益アル點ヲ擧グルト云フ主旨ニハ叶ハナイモノタルヲ忘レテハナラス。固ヨリ米券倉庫ガ農業倉庫トシテ發達スルニ於テモ之ニ依リテ商人モ亦大イナル利便ヲ得可キコト疑ノナイ所デアルガ、米券倉庫ノ持つ可キ利點トシテハ飽迄農民ノ受ク可キ利益ガ主位ニ在ツテ商人ノ得可キ利便ハ從位ニ立ツモノタルヲ忘レテハナラスノデアル。而シテ之レ亦實ニ米券倉庫ノ國民經濟上ニ於ケル意義ヲ決定ス可キ重大要件

タルニ想ヒ到ラナクテハナラヌ。

次ニ米券倉庫ノ缺點ト致ヘラレルモノニ就イテ、同ジク『穀物共同販賣ニ關スル調査』中ニ舉ゲラルル所ノモノヲ數ヘテ見ルト左ノ如キモノデアアル。

(一) 米券ノ濫用特ニ投機ノ盛ニ行ハルルニ至ルコト

(二) 倉庫ト米穀預託者ノ利害衝突

(三) 利用小農ニ及バザルコト

(四) 商人ノ買占メ容易トナルコト

右ノ中ニ在ツテハ(一)米券ノ濫用サレ特ニ之ニ依ツテ投機賣買ノ盛ニ行ハルルニ至ルコトハ、米券倉庫ノ齎ス弊害トシテハ最モ大ナルモノト云ハネバナラヌ。農民ハ米券ニ依ツテ容易ニ金融ノ得ラルルガ儘ニ、サ迄其ノ必要ナキ場合ニモ之ヲ得テ、其ノ得タル資金ヲバ事業資金ヤ生活ノ必要ニ用フルコトヲ爲サズ、之ヲ濫費シテシマウノ恐ノ少カラザルト同時ニ、米穀ノ賣買ハ米券ニ依ツテ頗ル簡單ニ行ハルルヲ得、又取引所ノ受渡モ之ニ依ツテ行ハルルヲ得、種々ノ點ニ於テ取引上頗ル便宜ナルガ爲メニ自然之ヲ以テ投機賣買ヲ試ムルニ至ルヲ避ケ難イノデアアル。即チ米券倉庫ガ諸地方ニ普及發達シテ其ノ米券ガ廣ク流通スルニ至レバ、ソハ即チ新ニ一ノ良好ナル投機證券ノ生レ來ルコトトナルノデアツテ、米券ガ投機取引ニ惡用セララルルニ至ルハ良ニ免レ難イ所デアアル。之ハ米國ナドニ於テハ現ニ表ハレテ居ル大弊害デアツテ、之ガ爲メニ穀物取引關係ト其間ニ生ズル價格トノ常調ヲ紊サレ生産者消費者共ニ之ガ爲メニ鮮カラザル不利益ヲ被ラザルヲ得ナイ。而シテ又米券ガ多數ニ市場ニ表ハレ來ルコトトナレバ、其事ト、現在倉庫内ニ多量ノ米穀ノ

貯藏サレアル事ト相重ツテ、市場價格構成上ニ二重ノ働ヲ爲シ、爲メニ價格ハ常ニ下落セントスルノ傾向ヲ迎フルニ至ルコトモ避ケ難イ次第デアル。⁵⁴⁾總テ斯ノ如キハ米券制度ニ伴フ大イナル弊害タルヲ否ミ難キ所デアルカラ、此ノ弊害ヲ除クガ爲メニハ、米券發行ノ制度ハ餘リ之ヲ獎勵發達セシメヌ方針ヲ取ルノ外ハナイノデアル。此點亦實ニ吾人が今日ノ問題トシテ農業倉庫ノ獎勵ヲ計ルニ於テモ、證券發行ノ制度ヲ採ルヲ否トスル理由ノ一ヲ爲スモノデアツテ、農民ガ米券ニ依ツテ盛ニ投機取引ヲ行フ様ノ事トナリ、純商人ノ爲ス所ヲ爲サントスルニ至ルガ如キアラバ、ソハ實ニ農業倉庫ノ發達ニ依ツテ農民ヲ扶ケ其ノ利益ヲ増進セシメント欲シテ、却テ事實上ニ於テハ農民ヲ傷ケ自ラ奈落ニ沈陥セシムルノ結果ヲ齊スコトトナル次第デアル。

次ニ(二)倉庫ト米穀預託者トノ利害衝突ト云フ點ハ、倉庫ヲ經營スル者ト之ニ米穀ヲ預託スル者トガ別人デアリ、例ヘバ米券倉庫ハ株式會社ノ組織ニ依ツテ出來テ居リ、米穀預託者ハ其ノ株主デモ何デモナイ者デアルガ如キ場合ニ最モ著明ニ表ハレ來ルモノデアル。即チ此ノ弊害ハ穀物倉庫ハ會社トシテ商人ノ經營スル所デアリ、農民ハ之ニ穀物ヲ預託スルノ必要ニ迫ラレテ居ル米國ノ如キニ於テ、現ニ頗ル甚シキ程度ニ於テ表ハレテ居ル所デアツテ、倉庫ハ農民ノ利益ヲ犠牲ニシテ自己ノ營業利益ヲ大ナラシメントシ、預託穀物ノ品質等級ノ査定ニ於テ先ヅ利害衝突シ、又枰量重量ノ上ニ於テモ、保管料ノ上ニ於テモ常ニ兩者ノ拮抗ヲ見、又農民ガ倉庫ニ穀物ヲ賣却スル場合ニ於テハ、其ノ價格ニ就イテ爭ノ起ルヲ避ケ難イ。斯クテ米國ニ在ツテハ農民ハ穀物倉庫ヲ以テ寧ロ農民ノ敵ト考ヘ、穀物賣買上ニ於テ如何ニカシテ其ノ羈絆ヲ脱セント欲シ、穀倉會社ニ對

54) Dr. H. Crüger, Getreideabsatzgenossenschaften. Berlin, 1896. S. 231g.

スル大反抗運動ヲ起シテ、農民ハ農民自身ノ共同組織ニ依リ産業組合トシテ穀物倉庫ヲ組織セントスルノ努力ノ大ニ起リ來リ、一時ハ非常ナル驕ヲ仕出カシタ様ナ次第デアル。⁵⁵⁾

我國ノ米券倉庫ニシテモ、若シ其ノ組織ガ會社組織ナドデアツテ、現狀ノ儘不統一ニ發達シテ行クニ於テハ右ノ如キ倉庫ト預託者トノ利害衝突ハ必ズ表ハレ來ル可キモノデアル。此ノ弊害ヲ防グ方法トシテハ倉庫ト預託者トガ別人ナラズ、倉庫ハ組合員ニ依リテ共同的ニ組織セラレタルモノデアリ、預託者ハ即チ倉庫ノ組織者タル組合員ナリト云フ、産業組合ノ組織ヲ探ルノガ一番簡單ナ方法デアル。倉庫ト預託者トガ同身一體タラバ右ニ述ブルガ如キ兩者間ノ利害衝突ハ起リ得ナイ。其起ルハ倉庫ガ會社ナドデアツテ、營利ノ爲メニ業ヲ行フカラデアル。此點亦吾人ガ、先ニ農業倉庫ノ組織ヲ論ズルニ就ケテ、會社組織ヲ排斥シ、産業組合ノ組織ヲ推奨シタ理由ノ一ヲ爲スモノナルコトヲ、茲ニ明カニシテ置ク。

次ニ(三)米券倉庫ハ其ノ利用ノ小農ニ及バズシテ主トシテ大中地主ノ機關トナツテシマウノ恐アルコトハ、洵ニ親易キ缺典デアル。小農民ハ其ノ生産穀物ノ量ノ少キ爲メニ之ヲ倉庫ニ預入スルノ必要モナク、又之ヲ預入シテ金融ヲ得ルナドト云フ事ヲスルニ足ルダケノ米穀ヲ有シナイ。⁵⁶⁾從テ米券倉庫ハ大中地主ガ或ハ小作米ノ取立ノ爲メニ或ハ米穀ノ保存ト金融トノ爲メニ專ラ之ヲ利用スルコトトナリ、米券倉庫ハ如何ニ利益アルモノタリトモ、其ノ利益ハ小農ニ及バズ、將來大ニ發達シテ其ノ利用益々有效トナルトモ、其ノ恩澤小農民ニ及バザルヲ免レ難イ。然ルニ今ヤ眞實救済ノ要アル者若クハ將來大ニ扶助シテ其ノ地位ヲ維持セシメ、其ノ經濟的并ビニ社會的獨立ヲ保タシ

55) O. Böhm, a. a. O. S. 29-34

56) 現ニ酒田米券倉庫ノ如キモ預託米十石ニ滿タナケレバ米券ヲ發行セナイノデア
ル(第十八農務彙報一四頁)

ムルノ必要アルモノハ、此等ノ小農民デアルカラ、米券倉庫ハ斯クテハ即チ多ク經濟政策上若クハ社會政策上ニ效能ヲ有シ得ザルコトトナリ、之ヲ保護獎勵シテ發達セシムルモ、扶クルノ必要ナキ者ヲ扶ケ、助クルノ必要アル者ヲバ助ケ得ザルコトトナリ、却テ豫期ニ反シタ結果ヲ見ルニ至ルコトアル可キヲ否ミ難イ。此點カラ考ヘテモ農業倉庫ハ之ヲ米券式ノモノトセズ、小農民ガ極メテ小規模ニモ之ヲ組織シ得テ、或ハ米穀保存ノ點ニ於テ或ハ其ノ共同販賣ノ方法ニ於テ或ハ少額タリトモ有用ナル融金ノ道ニ於テ、利益ヲ占メ得、其惠ニ浴シ得ルモノタラシムルガ必要デアル。

最後ニ(四)商人ノ買占メノ容易トナルト云フ點ハ又之レ明カニ米券倉庫ノ陷リ易キ缺陷デアツテ、之ハ經營者其人ヲ得ザルカ其ノ經營ノ不注意ニ行ハルルカノ如キ場合ニハ表ハレ來ルヲ免レ難イ。又或ル場合ニハ已ムヲ得ザル事情トシテ表ハレ來ルコトモアルガ、兎モ角商人ノ買占ヲ容易ナラシメ之ガ爲メニ米價ヲ左右サルルガ如キコトアツテハ、米券倉庫ハ却テ農民ノ不利益ヲ醸ス道具トナル次第デアルカラ、此弊ハ努メテ之ヲ防グニ注意セナクテハナラス。而シテ之ヲ防グコトハ割合ニ困難デハナイト思ハレル。ツマリハ取引ス可キ商人ヲ選ビ常ニ警戒ヲ怠ラナケレバヨイコトニナルノデアルガ、然シ之モ後ニ述ブ可キガ如ク、農業倉庫トシテハ常ニ確實ナル大消費者ト連絡ヲ取テ米穀ハ常ニ之ニ賣却スルノ道ヲ講ズルニ於テハ此種ノ弊害ニ陷ルコトハナイト云ハネバナラス。米穀ヲ商ノニ販賣セムトスレバコソ、其ノ技術モ困難トナリ理事者ニ十分ナル企業能力モ必要ナリ、又茲ニ述ルガ如キ弊害ニモ陷リ易イコトトナルノデアルカラ、農業倉庫トシテハ成可ク此ノ商販賣ヲ避クルガ可イト吾人ハ信ズル。之ニ關シテハ後ニ今少シク詳細ニ

論スルデアラウ。

要スルニ米券倉庫ニハ上述ノ如キ幾多ノ利點ト缺典トノ相伴フモノデアルガ、兩者ヲ比較シテ之ヲ考フレバ、吾人ノ論ズル所ニヨリテ明カナルガ如ク、組織其宜シキヲ得、經營ノ方針ヲ誤ラズ、誠實ナル理事者ヲ得、健固ナル共同精神ヲ以テ業務ノ行ハルルニ於テハ、缺典ハ大抵之ヲ免レ得テ利點ハ之ヲ享受シ發輝スルコトガ出來ルモノト、道ハネバナラヌノデアルカラ、一般論トシテハ一概ニ弊害多キモノトシテ之ヲ退クル譯ニハ行カヌ。然シ之ヲシテ弊害ナキ有利ナルモノタラシメンガ爲メニハ、米券倉庫ナルモノハ今ノ米券倉庫トシテ其儘ニハ發達セシメラレヌモノトナリ、殆ンド全ク其性質ヲ異ニシ面目ヲ更メタル農業倉庫トナラザルヲ得ナイコトヲ注意セザル可ラザル次第デアル。

六 米券倉庫ト産業組合

上來吾人ハ米券倉庫ナルモノノ性質組織業務及ビ其ノ利弊ニ就イテ論議シタルコトニ依テ、略ボ其ノ性質ヲ明カニシ、其ノ組織ノ當否ヲ攷ヘ、又其ノ業務上ニ於テ講究ヲ要スル問題ヲ解決シ、進ムデハ一般ニ米券倉庫ナルモノノ經濟上社會上等ニ於ケル利害ニ就イテ其ノ批判ヲ試ムルヲ得タト信ズル。而シテ吾人ハ此等諸多ノ方面ニ關スル諸多ノ問題ヲ攷量シタル結果トシテ、米券倉庫ナルモノハ、之ヲ現狀ノ如キ統一ナキ雜駁ナルモノトシテ成行ノ儘ニ榮枯スルニ任カセズ、其ノ性質ヲ明確ナラシメ其ノ組織ヲ統一的ナラシメ又其ノ業務ハ之ヲ統一的法規ノ下ニ規律シテ

向フ可キ所ト據ル可キ所トヲ得セシメザル可ラザルノ必要ヲ切ニ感ズル次第デアル。而シテ之ヲ爲スニ就ケテハ吾人ハ今後農業倉庫ノ獎勵ニ關スル問題トシテハ、米券倉庫ハ所謂米券倉庫トシテ發達セシメズ、換言スレバ、今後普及發達セシム可キ農業倉庫ハ米券倉庫タラシメズシテ、證券トシテノ米券ノ發行ヲ爲サザル單純ナル農業倉庫ト爲シ、其ノ組織ハ之ヲ產業組合組織タラシムルヲ可トスルノ所以ヲ、大抵十分ニ論議シ得タト信ズル。

仍テ今少シク米券倉庫ニ似タル農業倉庫ニシテ產業組合法ニ依ツテ成立シ又之ニ依テ業務ヲ行フモノト、米券倉庫ニ似タルト似ザルトヲ問ハズ一般ニ米麥ノ販賣ヲ行フ產業組合トノ、全國ニ於ケル現狀ヲ見、次デ今後農業倉庫トシテノ發達ヲ期スルガ上ニ就テ注意ス可キ施設經營上ノ諸事項ヲ論ジ、又其ノ適例ヲ示シテ見タイト思フ。

農務局ノ調査ニ依レバ大正四年末ニ於ケル全國ノ產業組合總數ハ一萬一千五百九ノ多キニ達シテ居リ、組合員數百三十九萬二千五百八十九人、組合資金合計(出資金、積立金、借入金、及ビ貯金合計)七千五百三十四萬九千百九十一圓ト云フ巨額ヲ示シテ居ル。亦盛ナリト謂ツ可キデアツテ世界中ニ於テモ五六位ヲ下ラヌ有様デアル。而シテ今此ノ多數ナル產業組合ノ中ニ在ツテ販賣組合及ビ販賣兼營ノ組合數ハ五千百十一デアツテ、信用組合及ビ信用兼營組合ノ九千七百三十八、購買及ビ購買兼營組合ノ七千四百五十七ニ亞イデ多數デアリ、生産組合及ビ生産兼營組合ノ如キハ僅カニ千六百七十三ヲ算スルニ過ギヌ⁵⁷⁾。然リ而シテ今米麥ノミニ就イテ其ノ販賣ヲ爲ス組合ノ數ハト見レバ、其數及ビ販賣價額ノ概況實ニ左表ノ如キモノガアル⁵⁸⁾。(尤モ之ハ大正三年度ノ事

57) 「全國產業組合概況」ニ據ル

58) 此ノ材料ハ產業組合中央會ノ好意ニヨリ供與セラレタモノデアアル

業結果ニ依ルモノデアル)

取扱品	組合數	價額	取扱品	組合數	價額	取扱品	組合數	價額
北海道 麥	二	八、二七六	福井 米	三	四、一六一	岐阜 早米	五	一、四〇四
東京 米	一	一、六〇	石川 米	八	三、四七三	宮城 米	五	三、三
京都 米	二	四、一八七	富山 米	二	六、四七三	福島 米	七	三、一八八
大阪 麥	一	三、七五七	島根 米	三	五、三三	巖手 米	二	四、八八
神奈川 麥	一	一、三三	岡山 麥	六	四、九四一	徳島 米	一	五、五
兵庫 麥	二	一、九〇一	廣島 麥	六	四、一四〇	香川 麥	一	二、八七
長崎 麥	二	一、九七〇	山口 麥	一	四、一四	愛媛 麥	一	一、八八
新潟 麥	一	一、九七〇	和歌山 麥	一	六、〇四	高知 麥	一	一、八八
埼玉 麥	一	一、九七〇	栃木 麥	二	五、九四	福岡 麥	一	一、八八
群馬 麥	一	一、九七〇	奈良 麥	一	三、九六〇	大分 麥	一	一、八八
千葉 麥	二	八、五五	三重 麥	一	二、二	佐賀 麥	一	一、八八
茨城 麥	二	二、七九〇	愛知 麥	七	一、〇一	熊本 麥	一	一、八八
青森 麥	二	四、一八七	静岡 麥	三	一、九〇	宮崎 麥	一	一、八八
山形 麥	一	一、三三	滋賀 麥	二	四、一八七	計	二	二、四〇

即チ米穀ノ販賣ヲ爲ス組合數ハ全國合計三百七十九デアツテ其ノ販賣價額二百四十四萬五千六

百五十九圓、麥ノ販賣ヲ爲ス組合數二百二十九デ其ノ販賣價額八十九萬三千二百四十二圓ト云フ
狀況デアル。之ハ全國ニ於ケル産業組合數ノ多キニ比シ、又我國内ノ市場ニ於テ賣買取引セラレ
ル米麥ノ價額ノ莫大ナルニ比シ、決シテ多イ割合ヲ占メテ居ルトハ云ヘヌ次第デアツテ、寧ロ未
ダ甚ダ少キニ過ギルト云ハネバナラヌ。然シ兎ニ角ニ現在既ニ米麥合計ニ於テハ六百八ノ組合ガ
三百三十三萬八千九百一圓ノ價格ノモノヲ取扱ヒ販賣シテ居ル次第アレバ、農業經濟上ニ於テ
ハ相當ニ重要ナル意義ヲ有シテ居リ、今後之ヲ獎勵發達セシムルガ上ニハ、既ニ十分ナル基礎ノ
据ヘラレテアルモノト云ハナケレバナラヌ、此ノ基礎ノ上ニ於テ、當局ノ指導ノ機宜ニ適シテ有
效ニ行ハレ、又一般國民ノ努力經營十分ニシテ其宜シキヲ得タナラバ、近キ將來ニ於テ顯著ナル
發達ヲ見ルヲ得可キコト、蓋シ疑フ可ラザル所デアル。

然リ而シテ今米麥等ノ販賣ヲ行フ可キ産業組合ノ經營方法ニ關シテ「穀物販賣組織ニ關スル調
査」ガ

穀物ノ共同販賣ニ依リテ充分ノ利益ヲ獲ムトスルニハ單ニ共同販賣ヲ行フノミナラズ

(一)販賣ニ適當ナル時機迄安全ニ穀物ヲ貯藏スル倉庫ノ設備ト

(二)販賣セラルルニ至ル迄低利ノ金融ヲ與フ可キ方法トヲ講ゼサル可ラズ更ニ進ンテハ

(三)販賣上有利トラシムル爲ニ穀物ノ再調製、改裝或ハ精白、製粉等ヲ爲ス設備ヲ必要トスヘシ⁽⁵⁹⁾

ト述ベテ居ルノハ、洵ニ當レルモノデアツテ、此等ニ關スル事アルガ爲メニ即チ問題ハ一般ニ農
業倉庫ヤ米麥倉庫ヤニ觸レテ來、茲ニ本論ニ於テ之ヲ述ベザル可ラザルコトトナル次第デアル。
仍テ今右等ノ諸事項ニ就イテ考フルニ、先ツ倉庫ノ設備ト云フ點ニ關ノテハ、現狀ニ於テハ産業

組合中之ヲ有スルモノハ米ダ決シテ多シト云フ可ラザル有様デアル。試ニ倉庫ヲ有ス。組合ヲ例示シテ見ヤウナラバ

有限責任粟生改良米販賣組合(大阪府三島郡豐川村大字粟生)⁽⁶⁰⁾

有限責任瀧忠信用購買販賣生産組合(新潟縣刈羽郡石地町)⁽⁶¹⁾

無限責任那珂購買販賣組合(栃木縣那珂郡那珂町大字小川)⁽⁶²⁾

有限責任佐布里信用購買販賣組合(愛知縣知多郡八幡村大字佐布里)⁽⁶³⁾

有限責任廣柄共同購買販賣組合(富山縣西礪波郡廣柄村大字鷹柄村)⁽⁶⁴⁾

有限責任上大津信用購買販賣生産組合(茨城縣新治郡上大津村大字毛野)⁽⁶⁵⁾

有限責任玉瀨信用購買販賣組合(三重縣阿山郡玉瀨村)⁽⁶⁶⁾

有限責任豐地信用販賣購買組合(三重縣一志郡豐地村大字之丘)⁽⁶⁷⁾

有限責任福釜信用購買販賣組合(愛知縣碧海郡安城町大字福釜)⁽⁶⁸⁾

右等ノ中後ノ四者ハ「農業倉庫中成績良好ナルモノノ事例」トシテ米價調節會ノ調査書ニ載ツテ居ルモノデアル。而シテ各組合ノ取扱フ販賣ノ價格ニ至ツテハ、小ハ數千圓ヨリ大ナルモ數萬圓ニ過ギヌガ、之ハ決シテ其大ナルヲ必要トセザル次第デアツテ、寧ロ其ノ徒ラニ大ナランコトヲ企望スルノ結果事業ヲ擧ゲテ失敗ニ歸セシムル場合ガ少クナイ。試ニ左右等ノ組合中四五ノモノニ就イテ大正四年度ニ於ケル米穀販賣額ヲ示シ、以テ其ノ一班ヲ例示スルコトトスル⁽⁶⁹⁾

新潟縣濱田信用購買販賣生産組合……………九二八三圓

三重縣豐地信用販賣購買組合……………三〇五三五

三重縣玉瀨信用購買販賣組合……………五二、〇〇〇

60) 穀物販賣組織ニ關スル調査一七三頁

62) 同上一七八頁

64) 同上一九九頁

66) 同書六五頁

68) 「農業倉庫ニ關スル調査」六六頁

69) 此ノ材料モ亦産業組合中火會ノ供與ニ係ルモノデアル

61) 同上一七六頁

63) 同上一九〇頁

65) 米價調節會「農業倉庫ニ關スル調査」六一頁以下

67) 同書六六頁及ビ「穀物販賣組織ニ關スル調査」一七九頁

富山縣鷹栖共同販賣購買組合……………一、八九七
栃木縣那珂購買販賣組合……………四七、四六一

仍テ進ムテ穀物ノ販賣ヲ爲ス産業組合ノ業務經營ノ概様ヲ見ルニ、大抵米穀倉庫ノ遣口ニ以テモノデアルガ、又頗ル之ト面目ヲ異ニスル點モアル。是ハ兩者ノ性質上ノ比較ヨリシテ之ヲ考ヘテモ正ニ然ル可キコトト云フノ外ハナイ。先ツ穀物ノ保管ニ於テハ固ヨリ混合保管ト個別保管トノ共ニ行ハル可キデアルガ、上天津組合ノ如キハ委託者毎ニ區分シテ保管スルコトトシテ居ル⁷⁰⁾然シ將來穀物販賣組合ノ大ニ發達スルニ於テハ自然混合保管ガ主トシテ行ハルルニ至ル可ク、又之ヲ混合保管ニスルハ、穀物ノ商品能力ヲ増大セシムル所以デアル。次ニ保管ノ米麥ニ對シテハ預リ證書(荷受票、保管證)ヲ發行シ、之ニ對シテ組合ヨリ資金ノ融通ヲ爲スモノモアルガ、之ハ固ヨリ單純ナル預證書トシテ權利證明ノ具タルニ過ギズ、彼ノ米券ノ如クソレ自身ガ權利所持者タル證券ノ性質ヲ有スルモノデハナイ。從テ之ガ裏書ニ依ツテ轉々流通スルモノデハ勿論ナイ。而シテ保管米麥ニ對ズル金融ノ方法ハ大抵在庫米麥ヲ質擔保トシテ普通ノ貸付ヲ爲スノガ例デアル、彼ノ米券ニ於ケルガ如ク米券其物ノ質入裏書ニ依ツテ之ニ對シテ金融ノ行ハルルモノトハ大ニ法律上ノ性質ヲ異ニスル次第デアル。

次ニ産業組合ニ依ル穀物ノ共同販賣ニ至ツテハ、(一)先ツ組合ガ組合員ノ米麥ヲ買取り兩者ガ賣買両當事者トナルモノト、(二)組合ガ組合員ノ委託ヲ受ケテ所謂委託販賣ヲ爲スモノトガアル、前者ハ後者ニ比シ手數ヲ省キ組合トシテハ販賣上束縛ヲ受クルコトモ少イ譯デアルガ、之ト同時ニ穀價ノ高低ニ伴フ利得ト損失トヲ組合自身ニ於テ其責任ヲ負フコトトナル次第デアル。此ノ買

70) 農業倉庫ニ關スル調査六二頁
71) 農三縣重玉瀧組合ノ茨城縣上大津組合ノ如キ其列デアル(前掲書六二——六三頁及
72) 農三縣重玉瀧組合ノ如キニアテハ其ノ一半ノ發行數最近千九十五通ト報セラレ
テ居ル(同上六六頁)

取方法ヲ行フ組合ノ例トシテハ三重縣ノ豐地信用購買販賣組合ヲ上ゲルコトガ出來ル。其他大多數ノ組合ハ委託販賣ヲ爲スモノデアル。而シテ又穀物販賣ノ方法トシテハイ統賣法ト(隨前販賣法トハ)特約販賣法トノ三者ガアリ、何レモ現ニ行ハレテ居ル所デアルガ、吾人ハ就中特約販賣法ヲ推奨セムトスル者デアツテ、此ノ方法ヲ取ルコトハ實ニ穀物販賣組合ヲシテ能ク成功セシムル所以ナリト信ズル。其ノ理由ニ至ツテハ後ニ詳論スルデアラウ。而シテ代金ノ授受ニ關シテハ委託サレタル穀物ノ未ダ販賣サレザルニ先ツテモ組合員ハ其ノ假渡ヲ受クルヲ得ル仕組ヲ探レルモノガ少クナイ。例ヘバ大阪府ノ粟生改良米販賣組合ヤ、靜岡縣ノ有玉村中郡村購買販賣生産組合ノ如キハ其ノ例デアツテ、其ノ假渡ノ範圍ハ粟生組合ノ如キニ在ツテハ、物品時價ノ十分ノ八以内ト定メテ居ル。

尙又産業組合ガ其ノ業務ノ一トシテ恰モ米券倉庫ニ於ケルガ如ク小作米共同徵收、産米ノ集合検査等ノ事ヲ爲シテ居ルモノモアル。三重縣玉瀾信用購買販賣組合ノ如キハ其ノ一例デアル。

次ニ進ムデ農業倉庫ヲ産業組合トシテ發達セシメンガ爲メニ必要ナリト致ヘラルル經營上ノ注意事項ニ就イテ述ブルノ止ミ難キモノガアル。蓋シ經營上ニ其等ノ注意ノ行ハレルト行ハレザルトニ依ツテ、農業倉庫トシテノ組合ノ事業ノ成ルト敗ルトノ別レルモノアルヲ否ミ難イカラデアル。

『穀物販賣組織ニ關スル調査』中ニ掲グラレタル注意事項ハ頗ル其當ヲ得テ居ル。先ツ之ヲ示シテ次ニ吾人ノ見ル所ヲ附加ヘテ置クコトトスル。

73) 穀物販賣組織ニ關スル調査一八三頁

74) 前掲書一七四頁

75) 農業倉庫ニ關スル調査六五頁

(一) 穀物ハ價格ノ變動著シキモノナルヲ以テ可成ハ委託販賣ノ方法ニ依リ販賣ノ時期ハ理事ニ一任シ好機ヲ失スルコト無キ様ニスルコト

(二) 穀物ノ品質、調製候裝等ノ改良ニ注意シテ精細ナル検査ヲ行ヒ組合ノ販賣スル穀物ノ聲價ヲ高メ且ツ確實ナル販路ヲ獲得スルニ努ムヘキコト

(三) 組員ハ鞏固ニ團結シ目前ノ利益ニ眩惑シテ永遠ノ利益ヲ忘ルルコトナキ様ニ注意シ役員ハ誠實公平ニ組合ノ事務ヲ執行シ又常ニ市場ノ狀況ニ注意ヲ怠ラサルコト

(四) 販賣ニ依リテ得タル利益ノ一部ハ蓄積セシムル方針ヲ取り以テ凶作又ハ不時ノ災厄ニ備フルコト

即チ之ヲ攷フルニ、穀物ノ販賣ハ其ノ需要ニ彈力性乏シキ結果トシテ價格ノ變動ノ大ナルヲ常トスル爲メニ決シテ容易ナ仕事デハナイ。毎ニ市場ノ景況ヲ視、可然時機ニ乗ジテ機敏ニ販賣ノ方法ヲ講ジ以テ常ニ有利ナル條件ヲ以テ販賣ヲ爲スコトハ、可也困難ナ業務デアツテ、少カラザル商ノ智能ヲ要シ、其道ニ堪能ナル理事者一得ルニアラザレバ常ニ十分ナル成功ヲ占ムルト云フ譯ニ參ラヌ。然ルニ農氏ヲ以テ成レル産業組合ニ於テ此種ノ有爲堪能ナル理事者ヲ得ムコトハハ頗ル望ミ難イ所ト云ハナレケレバナラヌ。ソコデ即チ右ニ掲ゲラレタル(一)及三ヲ併セ見テ、其ノ各項ニ述ベラレタル所ノ事柄ハ何レモ甚ダ重要ナル注意事項タル譯デアルガ、吾人ハ此種ノ販賣組合トシテハ、出來得ル限り穀物販賣ノ諸關係ヲ簡單ナラシムル方法ヲ取り、理事者ガ販賣上ニ餘リ多クノ、商の機略ヲ必要トシナイ様ナ仕組ニスルコトガ最も必要ナリト信ズル。之ヲ爲スガ爲メニハ右(二)ノ中ニ述ベラレテアル確實アル販路ヲ獲得スルト云フ事項ニ最モ重キヲ置ク必要ガアルノデアツテ、出來得ル限り之ヲ確實ニスル方法トシテ、販賣ハナル可ク之ヲ特約販賣ト

ナシ、常ニ一定ノ得意先ニ定ツタル供給販賣ヲ爲スコトニスルガ、一番安全ニシテ且ツ有效ナ方法ダト信ゼザルヲ得。惟ソニ此事ハ實ニ獨逸ニ於テモ、普露西ノ穀倉組合ガハ失敗ヲ演ジタルニ拘ラズ、南方ニ在リばいゝるん其他ノ諸地方ニ於ケル穀物組合ノ能ク成功シ得タ主ナル理由ノ一ヲ爲スノデアツテ、組合ガ常ニ、陸軍ノ糧食部ダトカ監獄ダトガ、大工場(特ニ大麥酒會社)ダトカ云フモノト、供給販賣上ノ契約ヲ爲シ、其間ニ特別ナ供給上ノ連絡ヲ取テ、穀物ハ總テ之ニ賣ルコトトシ、從テ其間ニ商的掛引ヲスル必要ノ無イヤウニ爲タノガツマリ其ノ成功ヲ齊シメ大原因ノ一ヲ爲スノデアル。

我國ニ於テモ夙ニ既ニ此事ニ氣が付イテ、此道ニ依テ其ノ業務ノ地歩ヲ固メツツアル組合ハ決シテ一ニニシテ盡キザル次第デアル。試ニ其例ヲ示セバ、先ヅ三重縣豐地信用購買販賣組合ノ如キハ、第三師國歩兵第十五聯隊ニ對シ精米ノ供給ヲ爲スコトラ企テ、明治四十二年ノ十月ニ第三師團トノ間ニ供給契約成立シテ津市所在ノ聯隊ニ精米供給ヲ爲スニ至ツタ。爾來同組合ニ於テハ銳意精良ナル米穀ノ供給ヲ爲スニ努力シ、之ニ依ツテ頗ル其ノ業務ノ地盤ヲ固メ得タノデアル。⁷⁶⁾次ニ最も顯著ナル例トシテハ、宇品陸軍精米支廠ガ諸多ノ産業組合ヨリ米麥其他ノ物品ヲ購入シテ多大ノ利便ヲ双方共ニ得ツツアルコト之デアル。即チ同支廠ガ明治四十一年度ヨリ四十二年八月迄ニ物品ノ購入ヲ爲シタ産業組合ハ、岡山縣ニ於テハ七郡六十八ノ多キニ及ビ、廣島縣ニ於テハ一市六郡三十組合、大分縣三郡十九組合、愛媛縣二郡三組合、兵庫縣三郡二十八組合、外ニ香川縣山口縣各一組合ト云フ廣キニ涉レルモノデアル。⁷⁷⁾之ハ實ニ喜ブ可キ現象ト云ハナクレバナラ

76) 穀物販賣組織ニ關スル調査一八一ヨリ一八八頁ニ至ル

77) 同書二〇四一二一〇頁

ヌ。吾人ハ、彼ノ優勢ナル我國ノ陸海軍ノ數十萬ノ健兒ヲ養フガ爲メニ産業組合トノ米麥其他ノ供給契約ガ益々廣ク且ツ盛ニ行ハルニ至ラムコトヲ希望セザルヲ得ナイ者デアル。若シ我國ノ産業組合ガ陸海軍ニ要スル米麥ノ供給ヲ一手ニ受負フガ如キニ至ラバ、ソレダケニテモ販賣組合ノ榮ヘ行ク可キ地盤ハ十分ニ造リ上ゲラルルニ足ルモノト信ゼザルヲ得ナイ。斯クテ即チ我國ノ農業ハ啻ニ陸海軍ノ軍人ヲ供給スル *reservoir* タルノミナラズ、又躬ラ直接ニ陸海軍ヲ養フモノタル次第デアツテ、農ハ實ニ護國ノ湯池タラザルヲ得ヌ。

陸軍以外ニ對シテモ、全國無數ノ各種學校ノ寄宿舍ナドハ産業組合ノ米穀供給得意先トシテハ最モ良好ナルモノト云ハネバナヲヌ。而シテ現ニ此ノ方面ニモ一二ノ例ハアル。農事講習生同窓會員ヨリ成ツタ福島縣ノ安積郡農事講習生購買販賣組合ノ如キモ縣立中學校寄宿舍ヘ白米ノ供給ヲシテ居ルト云フコトデアル。⁷⁸⁾ 教育ト産業組合トノ連絡ハ最モ歡迎ス可キ所デアツテ、此ノナ外形のノ方面ニ於テモ努メテ之ヲ爲スコトハ、双方ニ取ツテ有形ニ無形ニ多大ノ利益ヲ齎スモノダト信ズル。

次ニ(四)ノ注意事項ニ就イテ一言シタキハ、組合員ガ誠意誠心ヲ以テ鞏固ニ團結スルト云フコトノ絶對的ニ必要ナルコト之デアル。此事ハ今更論ズル迄モナク産業組合ノ發達ヲ期スルガ爲メニハ、一般的ニ必要缺グ可ラザル第一要件デアルガ、穀物販賣組合ノ如キニ在テモ此點ニ於テ確固タルモノナキニ於テハ、他ノ總テノコトハ完全ニ整備スルトモ、組合ノ發達シ其ノ業務ノ成功セムコトハ望ミ難イ所デアル。販賣組合ノ事業上最モ忌ム可キ防礙タルモノハ常ニ商人ノ組合員ニ

對スル誘惑ヤ反抗運動ト云フコト之デアツテ、現ニ此ノ苦イ經驗ヲ嘗メタモノハ少カラザル所デアル。例ヘバ滋賀縣ナル戰役紀念伴谷信用購買販賣組合ノ如キモ其ノ一例ヲ爲スモノデ、明治四十一年度ニ於テ其爲メニ九千餘圓ノ損失ヲ被ツタト報ゼラレテアル。⁷⁹⁾ 尙ホ栃木縣ノ那珂購買販賣組合ヤ靜岡縣ノ有玉村中郡村購買販賣生産組合ノ如キモ、其ノ報告中ニ特ニ此點ニ就イテ述ベテ居ル様ナ次第デアル。⁸⁰⁾

右等ノ外尙ホ農業倉庫トシテ若クハ穀物販賣組合トシテ發達セムガ爲メニハ、設立上及ビ業務上困難ナル點ヤ從テ經營上注意ヲ要スル點ヤノ多々之レアル次第デアルガ、之ニ關シテハ吾人ハ既ニ『穀物倉庫論』ニ於テ詳細ニ之ヲ論ジテ置イタル⁸¹⁾、茲ニ復タ繰返シテ述ブルヲ避ケルデアラウ。

七 將來ノ方針

以上縷々論議スル所之ヲ要スルニ、米券倉庫ナルモノノ現状ハ、其ノ性質ニ於テモ其ノ組織ニ於テモ頗ル不統一ノモノデアルカラ、將來ノ問題トシテハ先ヅ之ヲ統一スルノ必要ガアル。而シテ之ヲ統一スルニ就ケテハ、吾人ハ飽迄之ヲ農業的ノモノタラシメ、營利ヲ主トセズシテ公益上ノ意義ノ大ナルモノタラシメ、此點ニ於テ其ノ性質ヲ十分明確ノモノト爲スト同時ニ、其ノ組織ハ從テ之ヲ商事會社タラシメズシテ、農民ノ共同的組織ニ依テ成レル産業組合タラシム可ク、其ノ組合ハ又米券ト云フガ如キ證券ノ發行ハ之ヲ爲サヌモノタラシムルヲ以テ可ナリトスル者デア

79) 同書一九四頁

80) 同書及ビ一九二頁一七八頁

81) 本誌第一卷第六號四七頁以下

ル。其ノ理由ニ至ツテハ上來繰返シ來ツタ所デアルカラ、今一度之ヲ繰返スノ必要ハナイ。

而シテ將來農業倉庫ヲ右ノ大方針ノ下ニ發達セシムルヲ可トスルトシテ、扱テ其ノ設立ヲ吾人ノ主張ノ如ク、産業組合ニ依テ行ハシム可シトスル以外ニハ、或ハ之ヲ町村、町村組合、縣郡村農會、民法上ノ公益法人等ニ依ツテモ設立經營セシム可シトスルノ議論モ行ハルル様デアツテ、現ニ農商務省ノ諮問ニ對スル帝國農會ノ答中ノ如キモ、此ノ意見ニ據ツタモノノ様デアルシ、米價調節會ノ決議ヲ見テモ、公共團體、農會、産業組合又ハ公益法人ノ經營ニ係ル農業倉庫ニ對シテハ、建設費ノ補助ヤ所得稅及ビ營業稅ノ免除ヤ低利資金ノ融通ヤノ特典ノ與ヘラル可キモノトセラレテアル次第デアル。

農業倉庫ガ公共團體ヤ農會ヤニヨリテ設立經營セラレルコトハ、米券倉庫ノ或モノノ如ク商事會社ニ依リテ經營サルルヨリモ優ツテ居ルハ疑ノナイ所デアツテ、其ノ公益的意義ヲ高調スル上ニハ頗ル都合ノ好イコトト云ハナケレバナラス。然シ町村ト云フガ如キ地方自治體トシテ一般行政ヲ行フモノヤ、農會ト云フガ如キ專ラ農事ノ指導改良獎勵開發ノ任ニ當ル可キモノヤ、公益法人ノ如ク專ラ公益ヲ計ル可キ任務ヲ有スルモノヤガ、農事倉庫ト云フ、公益的性質ハ十分之ヲ有スルニシテモ、兎モ角農民ノ生産物ノ保管販賣及ビ金融機關タル可キモノノ經營ニ窮ラ當ルト云フコトハ、大ニ研究ノ餘地アル問題ナリト吾人ハ信ズル。農業倉庫ハ公益的意義ヲ有スルモノトハ云ヒ乍ラ、兎モ角營利ノ目的ヲ有シテ居リ、生産ト同ジクヤハリ一ノ經濟行爲トシテ行ハル可キ販賣ニ直接關係アルモノ否寧ロ販賣ニ關スル行爲ソレ自身タルモノデアルカラ、之ハ農民自身ノ

ヤル可キ所ノ行爲デアツテ、此ノ經濟行爲ヲバ町村ヤ農會ヤガ行フト云フハ、ドウモ穩當デナイ。國、府縣、郡、市町村ノ如キモノヤ府縣郡町村農會ノ如キモノヤハ、人々ノ行フ經濟行爲ニ對シテ其ノ條件ヲ與ヘ其ノ規律ヲ爲シ、ソレヲ指導シ扶護スル等ノ事ハ勿論之ヲ爲ス可キモノデ、之レ即チ所謂各種ノ經濟政策ナルモノニ外ナラズ、農業方面ニ在ツテモ農業政策トシテ正ニ行ハル可キモノデアルガ、然シ此ノ經濟政策ナルモノハ右ニ述ブルダケノ範圍程度ニ於テ止マル可キモノデアル、其レ以上尙ホ進ムデ個人ノ經濟行爲ノ一部ヲ自ラ引受ケテ其代リニ之ヲ行フ迄ノ事ヲ爲スヘキモノデハナイト吾人ハ信ズル。吾人ハ農業倉庫ノ經營ノ如ク農產物ノ販賣及ビ之ニ關係アル事柄ニ關スル經濟行爲ソレ自體タル性質ヲ有スルモノハ、宜シク之ヲ農民自身ニ行ハシム可キデアルト主張セザルヲ得ナイ。而シテ農民自身ニ之ヲ行ハシムルガ爲メニハ、共同ニ之ヲ行ハシメ協力相助ノ精神ノ下ニ其ノ組織經營ヲ爲サシムルガ得策デアツテ、ソレニハ丁度彼ノ產業組合ナルモノガ立派ニ存在シテ居リ、現ニ大ニ行ハレツツアル次第デアルカラ、此ノ產業組合ニ依ツテ之ヲ行ハシムルガ、何ヨリ便利デ又頗ル至當デアル。コンナ適當ナルモノノ有ルノニ何ラ苦ムデカ町村ヤ農會ヤノ如キガ、其ノ職務ノ範圍ヲ超ヘテ迄、躬ラ之ヲ行フノ必要ガアラウ。

吾人ハ元來農業保護ニ於テモ農民ヲシテ依賴心ヲ助長セシムルガ如キ道ニ於テ之ヲ行フヲ大弊害アリト信ズル者アツテ、努メテ農民ノ自助の精神ヲ養ヒ自力宗ヲ確立スルノ覺悟ト努力トヲ得セシムルヲ、必要ニシテ且ツ有效ナル道ト考フル者デアルカラ、農業倉庫ノ問題ニシテカラガ、此ノ一般的見地ヨリ之ヲ見ルモ、之ハ農民自ラノ經營タラシメ町村ヤ農會ノ如キハ唯ダ其ノ設立

經營ニ關スル指導ノ任ニ當レバソレデ可イコトデアル。保護ヤ扶翼モ其ノ適度ヲ超シテ、人々ヲシテ依頼心ヲ増長セシメ保護ニ狎レルニ至ラシムルニ於テハ、却テ害アツテ益ナキモノトナル次第デアルカラ、其點ハ何レノ問題ニ於テモ慎重ニ致慮セナケレバナラス所デアル。農民ノ如キモ希クハ唯ダ自ラ助ケシメヨ。而シテ公ノ機關ハ之ヲ導キ之ヲ教ヘ其ノ障礙トナルモノヲ取除キ其ノ扶トナル可キ方法ヲ授クレバソレデ可イノデアル。之レ亦吾人が農業倉庫ニ於テモ將來ハ成ル可ク産業組合ニヨルモノヲ推奨發達セシム可シト主張スル所以デアル。

次ニ將來ノ方針トシテ農業倉庫ヲシテ權利所持者^{レベ、トレ、カ}メル證券發行ヲ行ハシムルヲ不可トスルコトニ就イテハ、既ニ十分之ヲ論ジタ所デアルカラ、モハヤ此上蛇足ヲ加フル必要ハアルマイ。斯クテ農業倉庫ガ證券ノ發行ヲ爲サザル制度ノモノトシテ發達セシメラル可シト云フコトニナレバ、今ノ米券倉庫ナルモノハ頗ル其ノ意義ヲ失フコトトナル譯デアツテ、ツマリ問題ハ米券倉庫ノ制度ヲ捨テ單純ナル農業倉庫ノ發達ヲ促スノ方針ヲ取ル可シト云フコトニナルノデアルガ、吾人ハ之ハ然ウナル方が好ク、ソウナラナケレバ農業ニ取ツテ不利益デアリ農民ニ取ツテ危險デアルト信ズルノデアルカラ、是非然ウナル様ニ希望スル次第デアル。斯ノ如クニシテ産業組合ノ組織ニ依リ其經營ノ下ニ農業倉庫ガ發達スルコトトナレバ、其ガ最モ健全ナル發達タル可キデアル。

猶ホ今後ノ方針ニ關スル問題ニ於テハ、論ジタキ點々ノ點カラズ殘サレテ居ル次第デアルガ、一々之ヲ盡スニ於テハ餘リ長文トナル嫌ガアルカラ、右唯ダ所論ノ概括ヲ示スダケヲ以テ筆ヲ擱クコトトスル。後日又機會アラバ所見ヲ開陳スルコトモアラウ。

因ニ本論ノ材料ヲ得ルニ就ケ農商務省農務局及ビ産業組合中央會ノ示サレタル好意ヲ深謝スル。